

大運動 「集中期間」

ごとうみき奮戦記〈上〉

情勢と可能性を支部とともに確信に

日進市のごとうみき市議は、大運動で党員1人、日刊紙4部、日曜版3部(10月21日時点)を増やしました。

ごとう市議のとりくみをレポートしていただきましたのでご紹介します。

とりくみの力点と教訓

7中総の実践とは、と常に自分自身にも問いかけ、日進市委員会の会議を進めています。

①今の情勢と広がる可能性を実践を通じてつかもうと努力しています。

例えば「共闘の時代の歴史的可能性をくみつくし、強く大きな党を」というタイトルを読んで、れいわ新撰組のポスターを自ら張り出しているお宅を訪問、10月1日号1面に対話、「一緒に消費税5%にしましょう」と話して2人が読者(日曜版)になってくれました。(党支持者ではないので「強く大きな党」になったかどうかは不明ですが)

10月18日の県宣伝カーがきたときの街かどトークでは、参加してくれた方に10月17日号1面に対話、「共闘の息吹を伝えるのが赤旗です」紹介して街頭で日刊紙が増えました。

このような私自身が感じた変化を会議でも伝え、行動をよびかけています。

②7中総で提起された目標をしっかりと議論しようとして努力しています。

目標については、地区常任委員会や日進市委員

会、議員団会議でも躊躇する議論もあります。日進市委員会でも、まずは、どういう目標が提起されているのかを繰り返し議論してきました。

○全ての支部・グループが新しい党員を1人以上迎える。

○読者拡大では、支部・グループが毎月、日刊紙、日曜版とも増勢にする。

9月30日に3部の減紙が出た日進西支部でしたが、とにかく増勢に、と連絡を取り合い、1日申請までに4部拡大し、日刊紙、日曜版とも+1ずつ。申請時間までがんばり、日進中支部はH+2、N+2、日進東支部はH、Nとも±0までもってきました。

③個別に職場へも出かけています。

職場支部は増やせていません。10月こそは、と教員支部にも元読者名簿を見てもらい拡大に踏み出せるよう連絡をとっています。7中総の読み合わせ、討議も職場支部にやってやりました。「次の会議までになにだったらできますか？みんなでもちよりました」と提起し、宣伝紙を持って帰る方、署名を勧めるといふ方、10・19集会に知人を誘って行ってみる、という方みんなが「これをする」という会議になりました。「会議でしゃべらない人もいるけど、今日は全員が発言していい会議だった」と言われました。

1つグループ支部がまだ会議の設定ができていませんが10月中に7中総、11月は8中総の討議の会議をまずひらこう、と支部長と相談、党員との連絡がはじまっています。



雨の中でも、元気に街角トーク



演説する、ごとうみき日進市議